



言語文化教育研究会

シリーズ第11回 言語教育とアイデンティティ

バイリンガル学生たちのアイデンティティ

クロード・ジェルマン氏（カナダ・ケベック大学モントリオール校）

日時：7月27日（金）18:00～20:00

場所：早稲田大学 22号館 201教室

英語通訳付き、事前登録なし、参加無料、来聴歓迎

最初の部分で、まず CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）で展開された複言語主義的アプローチでの“アイデンティティ”の概念が、バイリンガリズムの枠組みとしての多文化主義的なアプローチであるカナダの状況にはなぜ適切でないのかについて簡単に説明します。その後、カナダの英語話者とフランス語話者の間の“アイデンティティ”の複雑な関係について、いくつかの例証をあげ、最後に、何人かのフランス語話者のケベック人たちの、英語学習に対する“アイデンティティ”態度について報告します。結論として、個人と社会の両方の観点から、“アイデンティティ”の否定的・肯定的な側面についてまとめます。

主催：言語文化教育研究会

代表：細川英雄（早稲田大学日本語教育研究科）<http://gbkk.jpn.org/>

